

# 新機種紹介 広報部会

## ▶ <02> 掘削機械

06-<02>-18	コベルコ建機 油圧ショベル (ホイール式) SK 125 W-3	'06.06 発売 モデルチェンジ
------------	--	----------------------

環境対応性、低燃費生産性、安全性、メンテナンス性などの向上を図ってモデルチェンジしたホイール式の油圧ショベルである。エンジンは、コモンレール式超高压燃料噴射システムとクールドEGRシステムを採用して、日本のオンロード排出ガス第3次規制(道路運送車両法・平成18年排出ガス規制)ならびにEPA(米国環境保護局)やEUの排出ガス対策(3次規制)に対応するものを搭載しており、さらに、オートクールファンの採用などにより、国土交通省の超低騒音型建設機械にも適合している。作業条件に応じて使用できる2種のアーム長さの仕様があり、オプションとして、アウトリガ付きやドーザブレード付きを用意している。バケット容量を大形化して生産性を向上するとともに、走行を2輪駆動と4輪駆動の切換え式とし、最高速度をアップして機動性を良くしている。

表-1 SK 125 W-3の主な仕様

	1.9 m アーム付き	2.27 m アーム付き
標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	0.51	0.51
運転質量 (t)	11.7	11.7
定格出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	118(160)/2,000	118(160)/2,000
最大掘削深さ×同半径 (m)	4.26×7.32	4.63×7.63
最大掘削高さ (m)	8.79	9.04
最大掘削力 (バケット/アーム) (kN)	82.7/62.2	82.7/56.8
走行速度 高速/低速 (前後進共) (km/h)	39/9	39/9
最小旋回半径 2駆/4駆 (m)	6.5/7.0	6.5/7.0
作業機最小旋回半径/後端旋回半径 (m)	1.75/1.75	1.70/1.75
登坂能力 (度)	31	31
最低地上高 (m)	0.31	0.31
タイヤサイズ (複輪・前後輪共) (—)	9.00-20-12PR(OR) or 9.00-20-14PR(OR)	9.00-20-12PR(OR) or 9.00-20-14PR(OR)
全長×全幅×全高 (走行姿勢) (m)	6.84×2.48×3.55	6.69×2.48×3.60
価格 (百万円)	15.2	—

(注) 2.27 m アーム付きでは、バケット近接の場合キャブと干渉する。



写真-1 コベルコ建機 SK 125 W 油圧ショベル (ホイール式)

インタークーラ、ラジエータ、オイルクーラを並列配置とし、燃料フィルタやエンジンオイルフィルタの別置き、エンジンオイルクイックドレインの採用、サービス機器の集約配置などでメンテナンス性を向上している。また、作動油交換間隔5,000 h、作動油フィルタ交換間隔1,000 hに延長してメンテナンス性を向上している。多種類キーを装備して盗難防止に配慮し、稼働情報管理機能(MERIT)を搭載して迅速で確実なサービス対応を図っている。

そのほか、アタッチメントの交換により圧砕機作業、ブレーカ作業、パイプロ作業などに幅広く使用できるようにしている。

06-<02>-19	日立建機 トラックバックホウ TB 50	'06.09 発売 新機種
------------	-------------------------	------------------

狭隘な市街地での上下水道、ガスなどの管工事や住宅建設工事において、機動性をもって作業が出来るコンパクトなトラックバックホウである。小型トラックにミニショベルの上部旋回体を搭載したもので、ショベルのエンジンは国土交通省の排出ガス対策(3次規制)基準値をクリアできるものである(現在は2次規制対応)。また、騒音対策の実施によって国土交通省の低騒音型建設機械にも適合する。ショベルのキャブにはエアコンを装備し、独立型アウトリガの操作は運転席からできるようにしている。各種アタッチメントに対応できる配管を標準で装備している。

表-2 TB 50の主な仕様

標準バケット容量 (m <sup>3</sup> )	0.22
運転質量 (t)	7.3
定格出力 (ショベル) (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	29.8(41)/2,500
最大掘削深さ×同半径 (m)	4.26×6.67
最大掘削高さ (m)	5.59
ブームスイング角度 左/右 (度)	60/60
アウトリガ張幅 (m)	2.62
小型トラック エンジン最大出力 (kW(PS)/min <sup>-1</sup> )	96(130)/3,000
全長×全幅×全高 (輸送時) (m)	5.36×1.88×2.98
価格 (百万円)	17.7



写真-2 日立建機 TB 50 トラックバックホウ

## 新機種紹介

▶ <05> クレーン、エレベータ、高所作業車  
およびウインチ

06-<05>-05	タダノ オールテレーンクレーン (伸縮ブーム形)  ATF 160 G-5	'06.07 発売 新機種
------------	---	------------------

不整地や舗装道路での高速走行を可能とする大形の移動式クレーンである。ドイツのファウン社と共同開発したもので、ブームおよび起伏シリンダを取外し、旋回体を後方向に向け、旋回ブレーキを作用、ピンロック状態として公道を走行できるようにしたものである。

ブームは箱型6段油圧伸縮式(各段ピンロック方式)で、内蔵された1本の複動油圧シリンダで各段を伸長する機構により伸縮装置の軽量化を図っている。ブームの伸長は、カラーモニタ画面により長さが選択される。油圧無段階傾斜式のジブは箱型3段同時伸縮式で、複動油圧シリンダ直挿式1本とワイヤロープ式伸縮装置2基による伸縮機構として、ふところの深い作業性を可能にしている。ブームを伸長した場合、ブームのたわみによる地切り時の荷振れを抑制するため、ブームのたわみ量に応じてブームの起伏を行うリフト・アジャスタ機能を採用している。

キャリヤは欧州・オフロード排出ガス規制適合のもので、5軸・全輪ハイドロニューマチックサスペンションとして荷重配分に配慮しており、フルオートマチックトランスミッションを搭載、10×6および10×8(オフロード・デフロック機構付き)の駆動方式を採用している。

ステアリング装置は、全油圧式パワーステアリングを採用してノーマル(前4輪+後4輪)走行とクラブ(前4輪+後4輪)走行を可能としており、高速安定性とともに入所進入性や建物への接近性を良くしている。さらに、非常用パワーステアリング機構を備えて安全性を確保している。ブレーキ装置として、2系統式・空気式全輪制動の主ブレーキ、流体式リターダ(変速機内蔵式)、排気ブレーキ、スプリング式の2・4・5軸(6軸)制動の駐車ブレーキ、駐車ブレーキと兼用の非常ブレーキを装備している。

作業装置の安全装置として、過負荷防止装置(作業範囲制限機能

付き、フック移動量表示機能付き)、アウトリガ張出し幅自動検出装置(個別検出式)、旋回範囲制限機能、旋回自動停止機能、ブーム起伏緩停止機能、巻過防止装置、捨巻確保装置、水準器、玉掛けロープはずれ止め、旋回ロック装置、油圧安全弁、油圧ロック装置(伸縮・起伏・巻上げ・ジャッキ)などを備えており、また、付属装置として、カウンタウエイト脱着装置、ブーム起伏微速モード設定装置、旋回微速モード設定装置、ブーム脱着装置、風速計などを搭載している。

表-3 ATF 160 G-5の主な仕様

吊上げ能力	ブーム/ジブ	(t×m)	160×3.0/26.6×7.0
最大地上揚程	ブーム/ジブ	(m)	61.0(14.0t)/83.0(4.0t)
最大作業半径	ブーム/ジブ	(m)	56.0(2.6t)/55.0(1.6t)
車両総質量(乗車定員2名)		(t)	39.810
最高出力	作業用・走行用	(kW(PS)min <sup>-1</sup> )	135(184)/1,800・ 380(516)/1,800
ブーム長さ/ジブ長さ		(m)	13.2~60.0/1.85+8.5~20.9
ブーム起伏角度/旋回角度		(度)	△1.0~84.0/360
ジブチルト角度		(度)	5~60
アウトリガ張幅(H型)伸~縮		(m)	8.3, 7.0, 5.6, 4.6
最高走行速度	F16/R2	(km/h)	85
登坂能力		(tanθ)	0.7
最小旋回半径		(m)	9.8
軸距		(m)	2.70+1.65+2.44+1.70
輪距(前後輪共)		(m)	2.55
タイヤサイズ(前後輪共)		(—)	445/95 R 25 177 E ROAD
全長×全幅×全高(公道走行姿勢)		(m)	13.370×3.000×4.020
全長×全幅×全高(ブーム架装姿勢)		(m)	15.770×3.000×4.050
価格		(百万円)	192

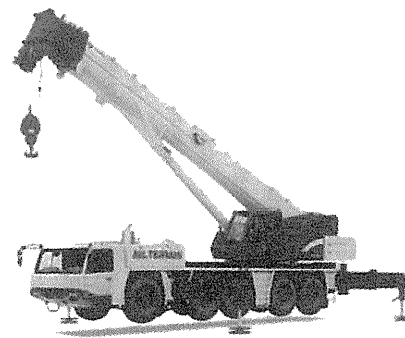


写真-3 タダノ ATF 160 G-5 オールテレーンクレーン